

平成29年度(2017年)あぜ道相談資料

実施日 平成29年(2017年)7月4日～10日 JA湖東

1. 今年の天候と生育概況

4月下旬の最高・最低気温とも「平年並み」、日照時間は「かなり多く」、降水量は「少なかった」。5月は、最高・最低気温とも「やや高く」、日照時間は「平年並み」、降水量は「やや少なかった」。6月上旬・中旬は最高・最低気温とも「平年より低く」、特に6月中旬の最低気温が「かなり低く」なった。また、日照時間は「かなり多く」、「降水量はかなり少ない」状況でした。
 ほ場では、田植後の天候が良く、活着は順調に進み、分けつが順調なほ場は中干し時期を早く迎えた。分けつが少ないほ場は、還元障害が起こっていて、軽く干す必要があったので、次年作では是非注意して下さい。
 また、適期を逃さず早目の中干しを行う事で、根の伸長を促し、無効分けつの抑制を図り、登熟歩合の向上を目指しましょう。

2. 穂肥施肥基準

- ※1 移植基準 みずかがみ・秋の詩・滋賀羽二重糯は4月29日植 コシヒカリ・日本晴は5月3日植 キヌヒカリは5月13日植 をそれぞれ基準日にしていますのでご注意ください。
- ※2 施肥量表示は、10aあたりになっています。
- ※3 施肥は幼穂の長さを確認し、尻水戸をしっかり止め、水を張った状態で施用する。朝露がある時は避け、過剰な施肥や遅い時期の施肥は避ける。特にコシヒカリ・滋賀羽二重糯は必ず幼穂長を確認したのち、穂肥を施用しましょう。
- ※4 葉色が極端に濃い場合は、穂肥を遅らせ減量する。
- ※5 みずかがみ・キヌヒカリ以外の「環境こだわり栽培」施肥基準については、別途、ご注意ください。

品種名	出穂予測	葉色	幼穂長	穂肥時期	使用した元肥が	穂肥名	その他注意事項			
1	みずかがみ	7月22日～24日	4.0	1ミリ	6月24～27日	ペーパ肥料の時、	滋賀こだわりハーフコート306 30kg			
2	環境こだわり		-	-		みずかがみ専用一発の時、	施肥しない。			
3	4	コシヒカリ	7月26日～31日	3.5	10ミリ	出穂18日前(7月8日～13日)	たまのこし・ペースト肥料の時、	穂太郎L 30kg または、 1回目 NK-C20 15kg	1回目から2週間後に2回目 NK-C20 10kg	倒伏の心配がある場合は、 ・ロミカ粒剤(出穂25～10日前、10aあたり2～3kg) ・ビビフル粉剤DL(出穂10～5日前、10aあたり3～4kg)
5							LPSS-D80/すご稲の時、	施肥しない。		
6	7	キヌヒカリ	7月28日～8月1日	4.0	1ミリ	出穂25日前(7月3～7日)	有機アグレットの時、	穂太郎L 26kg		
8						出穂30日前(6月28日～7月1日)	ハーフゆうきの時、	滋賀こだわりハーフコート306 30kg		
9							ペースト肥料の時、	滋賀こだわりハーフコート306 36kg		
10	11	日本晴	8月7日～9日	4.0	1ミリ	出穂25日前(7月13日～15日)	夢葉パワーの時、	穂太郎L 40kg または、 1回目 NK-C20 20kg	1回目から2週間後に2回目 NK-C20 10kg	
12										
13	14	秋の詩	8月9日～12日	4.0	1ミリ	出穂25日前(7月15日～18日)	夢葉パワーの時、	穂太郎L 40kg または、 1回目 NK-C20 20kg	1回目から2週間後に2回目 NK-C20 10kg	
14								ハイコート024L/すご稲の時、	施肥しない。	
15	滋賀羽二重糯	8月15日～20日	3.5	10ミリ	出穂18日前(7月28日～8月2日)	夢葉パワーの時、	1回目NK-C20 15kg/1回目から1週間後にNK-C20 10kg/走り穂が出た時NK-C20 10kg 出穂後から収穫までの期間に肥え切れすると稔実歩合の低下を招くため、実肥を施肥する。(やりすぎ注意)	倒伏の心配がある場合は、 ・ロミカ粒剤(出穂25～10日前、10aあたり2～3kg) ・ビビフル粉剤DL(出穂10～5日前、10aあたり3～4kg)		

3. 品種毎の出穂予測と防除時期と施肥時期カレンダー

記号の説明 穂:穂肥 出:出穂 防:防除

	6月							7月														8月																																			
	22	23	24	25	26	27	28	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日											
1	穂							1回目一斉草刈														2回目一斉草刈																																			
1	防除							防 フジワン														出																																			
2	防除							穂 穂太郎														出																																			
2	防除							穂 NK1回目														穂 NK2回目							出																												
2	防除							防 フジワン														防 アルバリン																																			
3	防除							穂 穂太郎														出																																			
3	防除							穂 こだわりハーフコート306														出																																			
3	防除							穂 こだわりハーフコート306														出																																			
3	防除							防 フジワン														防 アルバリン																																			
4	防除							穂 穂太郎														出																																			
4	防除							穂 NK1回目														穂 NK2回目							防 アルバリン																												
4	防除							防 フジワン														防 アルバリン																																			
5	防除							穂 穂太郎														出																																			
5	防除							穂 NK1回目														穂肥 NK2回目							出																												
5	防除							防 フジワン														防 アルバリン																																			
6	防除							穂 NK1回目														穂 NK2回目							出																												
6	防除							防 フジワン														穂肥 3回目							防 アルバリン																												

4. 水管理(根を守る管理)

- ① 幼穂形成期以降は、水不足にならないように注意し、出穂・開花・受粉が順調にできる環境づくりを心掛ける。出穂前後は、常時湛水に努め乾かし過ぎないようにします。
- ② 刈取前の落水は、できる限り辛抱し、登熟の向上と立毛胴割れ防止に努めましょう。

5. 病虫害防除(早期発見・早期防除)

- ① 共同一斉防除
 - ・共同一斉防除は決められた日に行う。
 - ・風向き周辺の状況に注意して散布する。
 - ・マスク、手袋を使用する。
- ② いもち病
 - ・共同一斉防除薬剤(フジワン粒剤)
 - ・茎数が多く過繁茂なほ場や、朝露などで露の落ちにくいほ場、前作で「いもち病」が発生したほ場では、特に発生に注意する。
 - ・発生を認められた場合、ブラシン粉剤DL(成分数2)を収穫7日前までに散布。環境こだわり栽培の場合にはJAに相談して下さい。
- ③ 紋枯病
 - ・最高分けつ期から出穂期頃に、下部の葉が枯れあがる。出穂期以降は上部も枯れあがる。キヌヒカリ、みずかがみなどに比較的発生が多い。
 - ・昨年発生したほ場では、リンバー粒剤(成分数1)を収穫30日前までに散布。
 - ・発生が認められた場合、バリダシン粉剤DL(成分数1)を収穫14日前までに散布する。環境こだわり栽培の場合にはJAに相談して下さい。
- ④ カメムシ類
 - ・共同一斉防除薬剤(アルバリン粒剤)
 - ・カメムシ類の吸汁による斑点米は、下位等級格付けの原因になる。
 - ・斑点米被害の多い地域は、一斉草刈を行うとともに、追加防除を実施する。
 - 一斉草刈 1回目 7月初旬 7月8日(土)～9日(日) 2回目 7月下旬 7月29日(土)～30日(日)
 - ほ場内のヒエ抜きは、7月上旬までに終える。
 - 追加防除 MRジョーカー粉剤DL(成分数1)出穂10日～20日後に散布する(10aあたり3～4kg)。ただし、収穫7日前まで 環境こだわり栽培の場合にはJAに相談して下さい。

<幼穂の見方>

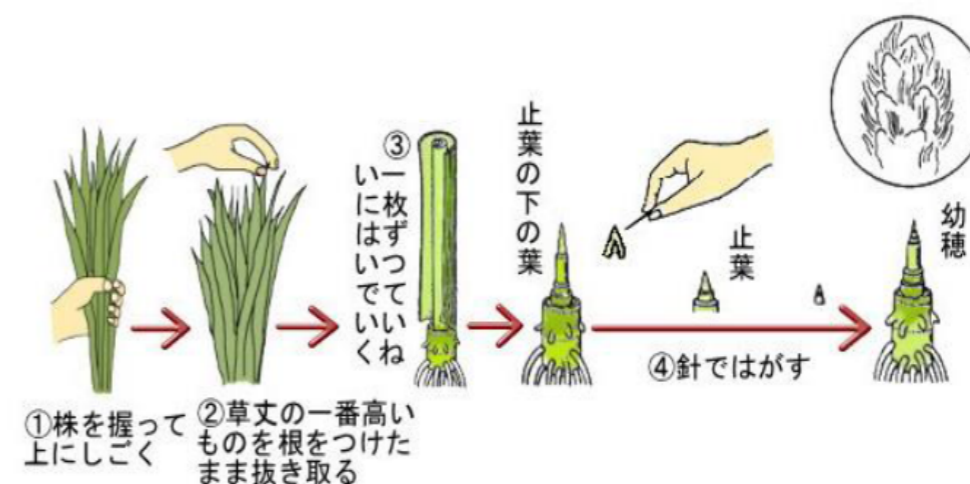


図 幼穂の観察の仕方

6. トレサビ・GAPの記帳

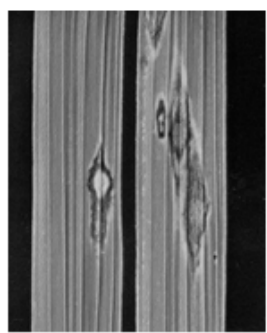
- ① 共同一斉防除が終了すれば、一連の作業が終了しますので、トレサビの記入内容を確認し提出に備えましょう。なお、JAへの提出期限は8月15日になりますが、日本晴など防除が遅くなる場合は、見込みの実施日を記載いただきご提出下さい。
- ② GAP(生産工程管理)は、一年の作業を振り返り作業工程の留意事項を再確認し、次年度作業の改善を図りましょう。

7. 環境こだわり農産物基準(水稻)

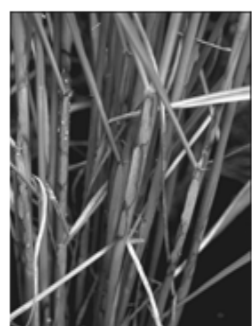
- ① 土づくりの励行
 - ② 化学合成農薬成分数 7成分まで
 - ③ 化学窒素肥料使用量 4kg/10aまで
- その他、環境保全型農業直接支払交付金制度には、別途要件がありますので、ご注意願います。

8. その他

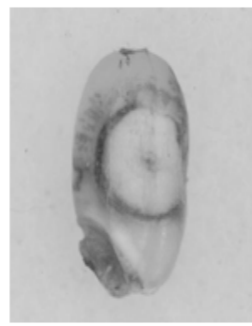
記載の農薬は、平成29年6月7日現在のものを使用しています。使用の際はラベルの内容を確認して下さい。



いもち病の病斑



紋枯病の病斑



斑点米被害写真



トゲシラホシカメムシ



アカスジカスミカメムシ



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ

■お問い合わせ■

湖東地区

西押立支所【営農指導員駐在】

NTT 0749-45-2701

IP 0505-801-2701

愛東地区

愛東支所 経済担当

NTT 0749-46-0076

IP 0505-802-3576

※湖東地区担当の営農指導員は、本所改築工事の間、押立神社にある西押立支所に駐在しておりますので、お気軽にご連絡下さい。